

16. アメリカ英語の誕生

要点

- British English と American English の違いは何か （拙著 pp. 139–55 及び tag [ame_bre] を参照）
- AmE の特徴は何か tag [ame]
- AmE の特徴はなぜ生じたか

AmE と BrE の違い

- どのくらい英米差を知っているか #357 (問)
- 答え合わせは #359 で.

語彙 (1)

	AmE	BrE
秋	()	autumn
1 階	first floor	() floor
2 階	() floor	first floor
鐵道	railroad	()
地下鉄	()	tube, underground

語彙 (2)

	アメリカ英語	イギリス英語
往復切符	round ticket	return ticket
ボンネット	()	bonnet
ナンバープレート	()	numberplate
トランク	trunk	()
フロントガラス	()	windscreen

文法 (1) #312

以下の文における AmE の文法・語法の特徴を指摘しなさい。

- I demanded that he not leave. #325
- Did you eat yet?
- Mary went home on Monday and came back Friday.

文法 (2)

- John is still in the hospital recovering from his operation.
- Go shut the door.
- The government has made up its mind, hasn't it?

発音

	AmE	BrE
()	[staʊ]	[staː]
()	[bæːd]	[bəːd]
()	[æsk]	[aːsk]
()	[hæt]	[hət]
()	[waɪə]	[wɔːtə]

綴字

AmE		BrE
<i>color, humor</i>	(	), (
<i>center, liter</i>	(	), (
<i>defense, offense</i>	(	), (
<i>traveler, traveled</i>	(	), (
<i>ameba, anesthetic</i>	(	), (

綴り字発音 ()

#211, tag [spelling_pronunciation]

- 綴り字に合わせて発音する傾向.
AmE に多い.
- AmE の () 主義ゆえか.
- *clerk, Derby, Greenwich, often, schedule, suggest, vase*

AmE の時代区分 #158

- 第 1 期: 1607 – 1790
AmE の () 期
- 第 2 期: 1790 – 1920
AmE の () 期. 1861–65 年の
() 戦争を境に前後期に
- 第 3 期: 1920 – 現在
AmE の () 期

アメリカ大陸発見と入植の挑戦まで

- Christopher Columbus, () 年に
バハマ諸島へ
- () Vespucci, 1501 年にアメ
リカ大陸を発見
- Sir Walter (), 1584 年 に
Roanoke Island へ入植しようとして
失敗

入植の歴史

- 1607 年, James I による () 建設
→ イングランド西部からア南部へ
- 1620 年, () が Plymouth へ
→ イング東部・南部からア北部へ
- 1682 年以降, () 教徒が Pennsylvania へ
→ イング中部・北部からア中部へ

移民の歴史

- 18 世紀半ば, () が中部へ
- 19 世紀半ば, () や () が
移民
- 19 世紀後半, 北欧, 南欧, 中欧から
移民

世界に広がる AmE

- () 後, アメリカが政治・経済・文化の超大国に
- BrE を含めた世界の英語 () に対して影響力をもつ #851
- 世界の共通語 () として英語を強力に推進 #376

AmE の方言 #457, #458

- イギリスの RP ()
に相当するような全国的に権威のある標準発音はない. cf. ()
Standard, General American
- (), (), ()
に大きく三区分

- () and (): イング南部からの移住者が多く，標準イギリス英語との共通点が多い.
- (): イング北部やスコットランドからの移住者が多く，標準イギリス英語との相違点が多い．水平化した方言.

英米の /r/ の分布

- AmE の () な地域: #453
- BrE の地域: #452
- 英語の「英米差」とは何を意味する？

AmE の特徴

- BrE の () を基礎とした混交
 - 広い国土ながらも、() が僅少
 - 外部・内部要素による旺盛な ()
 - 規範にとらわれず、() を追求
 - － 綴り字発音 ()
 - － 綴り字改革 ()
- (1758–1843)

Webster の改革 #468

- 表向きには () の追求を掲げて,
- 穏健な () 改革を成功させたが,
- 内心は, () からの独立と合わせて,
- () からの独立を目指した.

Webster の政治的立場

The question now occurs; ought the Americans to retain these faults which produce innumerable inconveniences in the acquisition and use of the language, or ought they at once to reform these abuses, and introduce order and regularity into the orthography of the American tongue? ... a capital advantage of this reform ... would be, that

it would make a difference between the English orthography and the American. ... a national language is a band of national union. ... Let us seize the present moment, and establish a national language as well as a national government. (Webster, 1789)

AmE は革新的，BrE は保守的？

#315

- 互いに独自に発展し，言語変化を経た
- AmE が古い語法を保つこともあった
- BrE が新しい語法を発展させることもあった

まとめ

- 英語の英米差の半分はイングランド内の方言分布に還元される
- 英語の英米差の半分は主に米独立以降の互いの異なる言語発達による
- 現代英語において英米差は小さくなっている